

承認番号	2019-057
研究課題名	早期膵癌診断のための連続膵液細胞診の有用性と安全性について
研究の意義・目的	膵癌の予後向上のために早期膵癌の検出が望まれています。近年、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（Endoscopic retrograde cholangiopancreatography; ERCP）を用いた連続膵液細胞診（Serial pancreatic juice examination; SPACE）の有用性に関する報告があるが、十分ではないのが現状です。当院でも近年SPACEを取り入れており、早期膵癌の診断に寄与しています。今回、我々は当院におけるSPACEの有効性と安全性を検討します。これにより、早期/超早期の膵癌診検査法としてのSPACEの有用性と安全性が報告できれば、今後の診療および膵癌の予後向上に貢献できると考えます。
研究を行う期間	倫理委員会承認日から2025年3月31日
研究対象者の範囲	2015年1月1日から2019年10月31日までに当院で膵臓疾患の精査目的に連続膵液細胞診を受けられた方が対象となります。
お願いする内容	<p>大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。</p> <p>検査データや、診療記録等の情報を使用させていただきます。</p>
頂いた試料・情報の提供方法	情報は提供しません。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 教授 藤原 靖弘
この研究を行っている施設（共同研究機関）	大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学のみで行います。
代表施設のURL	https://ocu-gastro.jp/for_patients/clinical-study/
研究の成果を公表する方法	研究結果を国内外の消化器領域を中心とした医学学術雑誌や学会にて公表します。その際、個人情報は公表しません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>研究責任者 丸山 紘嗣 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話 06-6645-2316、17 FAX 06-6645-3813</p>

承認番号	2019-057
研究課題名	早期膵癌診断のための連続膵液細胞診の有用性と安全性について
研究の意義・目的	膵癌の予後向上のために早期膵癌の検出が望まれています。近年、内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査（Endoscopic retrograde cholangiopancreatography; ERCP）を用いた連続膵液細胞診（Serial pancreatic juice examination; SPACE）の有用性に関する報告があるが、十分ではないのが現状です。当院でも近年SPACEを取り入れており、早期膵癌の診断に寄与しています。今回、我々は当院におけるSPACEの有効性と安全性を検討します。これにより、早期/超早期の膵癌診検査法としてのSPACEの有用性と安全性が報告できれば、今後の診療および膵癌の予後向上に貢献できると考えます。
研究を行う期間	倫理委員会承認日から2025年3月31日
研究対象者の範囲	2015年1月1日から2019年10月31日までに当院で膵臓疾患の精査目的に連続膵液細胞診を受けられた方が対象となります。
お願いする内容	<p>大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。</p> <p>検査データや、診療記録等の情報を使用させていただきます。</p>
頂いた試料・情報の提供方法	情報は提供しません。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学 教授 藤原 靖弘
この研究を行っている施設（共同研究機関）	大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学のみで行います。
代表施設のURL	https://ocu-gastro.jp/for_patients/clinical-study/
研究の成果を公表する方法	研究結果を国内外の消化器領域を中心とした医学学術雑誌や学会にて公表します。その際、個人情報は公表しません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>研究責任者 丸山 紘嗣 住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話 06-6645-2316、17 FAX 06-6645-3813</p>